

2022年11月1日

2022年12月22日 『CS-800』『CS-500』の発売時期を変更（2023年1月→2023年2月下旬）
2023年2月22日 『CS-800』『CS-500』の発売時期を変更（2023年2月下旬→2023年4月以降）

映像・音声・AI技術の相乗で話者の表情までリアルに伝える遠隔会議システム

ヤマハ ビデオサウンドバー 『CS-800』

ヤマハ ビデオコラボレーションシステム 『CS-500』

ヤマハ株式会社は、多様化するワークスタイルとオフィス空間での遠隔会議需要に応え、オフィスの様々な場所で「言葉、しぐさ、表情」がリアルに伝わる Web 会議を実現する、ビデオコラボレーションシステム『CS-800』『CS-500』を2023年4月以降に発売する予定です。



ヤマハ ビデオコラボレーションシステム 『CS-800』（左上） 『CS-500』（左下）

<概要>

近年、テレワークの急速な普及で、オフィスから自宅やシェアオフィスと働く場は多様化し、ビデオ会議や Web 会議などの遠隔会議がコミュニケーションの中心となっています。このような状況で、企業のオフィス内では遠隔会議の頻度の増大に伴い、会議室にとどまらずオープンスペースなどの様々な空間を利用するケースが増えてきています。しかし、会議室と比較して周囲の声や騒音の多いオープンスペースなどでの遠隔会議では、高品質でスムーズな通話体験の実現が難しく、会話のしにくさによる生産性低下につながります。また、遠隔会議利用者の増加に伴い、機器の設定にかかる時間は労働コストの増加にも直結します。そのため、様々な環境下でも安定して高い通話品質を実現することと、誰でも簡単に使用できる利便性を両立した遠隔会議システムの需要が高まっています。

今回発売する『CS-800』『CS-500』は、ヤマハ独自の音声解析技術とカメラの映像解析技術に AI 技術を掛け合わせ、使用される会議スペースと会議参加者を自動認識したうえで、新開発の「Hexa-Microphone」が会議参加者の声を“見つけて”收音し、認識した映像と音声を周囲の環境に合わせて自動補正することで、安定的かつ高品質な通話体験を提供するビデオコラボレーションシステムです。『CS-800』はマイクとスピーカー、カメラ、映像出力（HDMI）を内蔵した一体型ビデオサウンドバーで、『CS-500』はマイクとカメラ、映像・音声出力（HDMI）を内蔵し、接続するディスプレイのスピーカーを活用することで、軽量・小型化したモデルです。会議参加者の PC との接続は USB ケーブル 1 本で完結し、接続されたディスプレイの画面にユーザーガイドも表示されるため、初めてのユーザーも簡単に使うことができます。また、オプションの各種マウントキットと USB ロングケーブルを組み合わせることで、卓上や壁掛け、ディスプレイ取り付けなど様々な設置方法に対応します。オフィスの様々な空間を遠隔会議可能な場所へと変えることで、オフィスワークとテレワークを融合させた「ハイブリット型ワークスタイル」などの新しい働き方をサポートします。

品名	品番	希望小売価格（税込）	発売時期
ビデオサウンドバー	CS-800	159,500 円（税抜 145,000 円）	2023 年 4 月以降
ビデオコラボレーションシステム	CS-500	121,000 円（税抜 110,000 円）	2023 年 4 月以降

<関連オプション>

品名	品番	希望小売価格（税込）	発売時期
TV マウントキット（CS-800、CS-500 用）	BRK-TV1	16,500 円（税抜 15,000 円）	2023 年 4 月以降
ウォールマウントキット（CS-500 用）	BRK-WL1	5,500 円（税抜 5,000 円）	2023 年 4 月以降
ハイスペック USB ケーブル 10m	CBL-L10AC	44,000 円（税抜 40,000 円）	2023 年 4 月以降
ハイスペック USB ケーブル 25m	CBL-L25AC	88,000 円（税抜 80,000 円）	2023 年 4 月以降

※お問い合わせ先： 音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター TEL 03-5651-1838

製品情報 : https://sound-solution.yamaha.com/lp/cs-800_500

<『CS-800』『CS-500』コンセプト 動画>

https://www.youtube.com/watch?v=YEV_FFoZiDU

<主な特長>

1. 声を「見つけて」クリアに収録し、オープンスペースでの遠隔会議を可能にする「SoundCap Eye™」

『CS-800』『CS-500』は、オープンスペースなどの騒がしい環境下でも遠隔会議を可能にする独自の通話音声ソリューション「SoundCap™」にカメラの画像情報を活用することで、より高精度な声のみの抽出を実現した新技術「SoundCap Eye™」を搭載しています。内蔵する 4K カメラは、通話先に鮮明な映像を届けるだけでなく、映像を AI が解析して会議参加者の顔の位置を常に追跡します。また、新開発のビームフォーミングマイク「Hexa-Microphone」は、カメラが検出した会議参加者の音声にフォーカスし収録することで騒がしい環境下でもクリアな音声を通話先に届けます。加えて、通話先から届く音声は、本機周辺の使用環境に合わせて聞き取りやすくなるよう自動補正され、音量も適切に自動調整されるので、使用環境を気にすることなく、オフィス内の様々な場所で高品質な通話体験を得ることができます。



「SoundCap Eye™」による会議参加者の追跡（左）
新開発のビームフォーミングマイク「Hexa-Microphone」（右、画像は『CS-500』）

2. 話者へ自動でズームし表情を見てスムーズなコミュニケーションができる「スマートフレーミング機能」

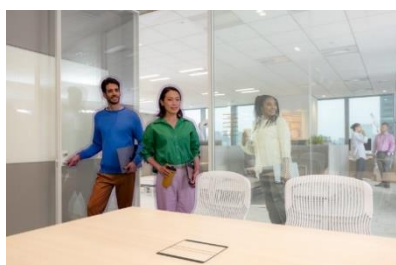
『CS-800』『CS-500』に内蔵しているカメラは視野角 120° の広角レンズを採用しています。広角レンズは広い視野で空間全体を撮影し、会議参加者全員をカメラフレームに収めることができる一方で、参加者一人一人の顔は相対的に小さくなり表情までを伝えることが難しいというデメリットがあります。そこで、カメラの映像解析による会議参加者の位置検出と「Hexa-Microphone」による発話者の位置検出を組み合わせることで、通話先の相手が見るべき場所を自動判定し、その場所を自動でズームする「スマートフレーミング機能」を搭載しました。これにより、話者の表情をクリアな音声と合わせて通話先に届けることで、発言意図が伝わる円滑なコミュニケーションを実現します。



「スマートフレーミング機能」

3. 思い立ったら、すばやく簡単に遠隔会議を始められる利便性

従来の遠隔会議システムは会議室の予約システムと連携し計画的に利用されるものであったのに対し、個人が使用する PC を遠隔会議のホストとして周辺機器と接続し即席的に Web 会議を行う「BYOM (Bring Your Own Meeting)」と呼ばれる使用方法が一般的となってきました。「BYOM」では、ユーザーが使い慣れた遠隔会議用アプリケーションを利用できる一方、会議用カメラやスピーカーフォン、ディスプレイをユーザー自身が自分の PC に接続して使用するため、会議開始までの時間がかかることが課題となっていました。『CS-800』『CS-500』は、ユーザーが近づいたことを検出し外部ディスプレイを含めて自動的に起動する「オートウェイクアップ機能」や、ディスプレイを通じて接続や使用方法を伝えるユーザーガイド、USB ケーブル 1 本で PC との接続が完結するシンプルな接続性を提供します。これにより「BYOM」での利便性が飛躍的に向上し、業務の生産性向上に貢献します。



1. 参加者を検出し自動でディスプレイ電源 ON



2. 使い方はディスプレイに自動表示



3. PC を 1 本のケーブルでつなぐだけ！

ヤマハ株式会社は、2006年に「話しやすい」「聞きやすい」会話を実現するWeb会議用スピーカーフォン「Projectphone (PJP) シリーズ」を発売し、Web会議システム市場に参入しました。2014年には「PJPシリーズ」で培った技術をもとに「Yamaha Voice Communication (YVC) シリーズ」を発売。充実したサポート、品質・音質などで高い評価を受け、数多くの企業に導入いただき、国内市場においてシェア No. 1*を確立しています。

* 株式会社富士キメラ総研「2022 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧」〈会議用マイクスピーカー、2021年度、数量/金額〉



ビデオサウンドバー 『CS-800』



ビデオコラボレーションシステム 『CS-500』

<主な仕様>

品番		CS-800	CS-500
希望小売価格 (税込)		159,500 円 (税抜 145,000 円)	121,000 円 (税抜 110,000 円)
外形寸法		620 (W) × 90 (D) × 70 (H) mm	261 (W) × 76 (D) × 51 (H) mm
質量		1.7kg	0.6kg
電源		AC100-240V (50/60Hz)	
最大消費電力		42.0W	15.0W
電波障害規格		VCCI class A	
動作環境	温度	0°C~40°C	
	湿度	20%~85% (結露のないこと)	
付属品		はじめにお読みください、セーフティガイド、保証書、USB 2.0 ケーブル (C-A タイプ, 5m)、HDMI ケーブル (2m)、リモコン (RC-RBT1)、レンズキャップ、コイン電池 (CR2032) × 2、AC アダプター (CW2002100、電源コード含む)、 【CS-800 のみ】クイックガイド、端子カバー、テーブルスタンド、ウォールマウントブラケット、端子カバー用固定ネジ (2.5 mm × 8 mm) × 2、テーブルスタンド用六角固定ネジ (M3 × 8 mm) × 2、ウォールマウントブラケット用本体固定ネジ (M3 × 8 mm) × 1、六角レンチ 【CS-500 のみ】結束バンド	
対応 OS		Windows 11、Windows 10、macOS 12、macOS 11、macOS 10.15、Chrome OS	
外部インターフェース		USB Type-C (USB 2.0/3.2 Gen 1)、 HDMI、Bluetooth、 Wi-Fi network (IEEE 802.11b/g/n)	USB Type-C (USB 2.0/3.2 Gen 1)、HDMI、 3.5 mm ステレオ端子、Bluetooth、 Wi-Fi network (IEEE 802.11b/g/n)

設置	卓上設置：テーブルスタンド(付属品)、 壁設置：ウォールマウントブラケット(付属品)、 ディスプレイ下設置：BRK-TV1(別売)	ディスプレイ上部設置(厚さ50mmまで) ：本体レッグ、 ディスプレイ上部設置(固定) ：BRK-WL1とBRK-TV1(別売)、 ディスプレイ下部設置 ：BRK-WL1とBRK-TV1(別売)、 壁設置：BRK-WL1(別売)、 三脚設置：本体三脚穴	
オーディオ	スピーカー	フルレンジスピーカー×1	-
	スピーカー音量	90dB SPL (1m)	-
	スピーカー周波数帯域	100Hz - 20kHz	-
	マイク	Hexa-microphone (MEMS×6)	
	マイク收音範囲	前方110°の音声を收音 最大距離：6.0m(フェイスクラスビームフォーミング無効時) / 3.0m(フェイスクラスビームフォーミング有効時)	
	マイク周波数帯域	100Hz - 16kHz	
オーディオ信号処理	適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、自動話者追尾、 オートゲインコントロール、オートルームEQ、残響抑圧、SoundCap Eye(フェイスクラスビームフォーミング、マイク自動ミュート、スピーカー音量自動調整)		
カメラビデオ	センサー	CMOS 8Mピクセル(4K)	
	視野角	120°(対角視野角)、110°(水平視野角)	
	対応ビデオ解像度	3,840×2,160、2,560×1,440、1,920×1,080、1,280×720、640×360	

<イベントについて>

11月16日(水)～11月18日(金)に幕張メッセで行われる「Inter BEE 2022」に『CS-800』『CS-500』を展示予定です。また、12月8日(木)に『CS-800』『CS-500』のお勧めポイントの説明や実際に使った映像・音声をご覧いただけるウェビナーを開催し、参加者には『CS-800』『CS-500』を抽選でプレゼントするモニターキャンペーンも行います。さらに、発売を記念して、通常2年間のところを3年間延長し計5年間のメーカー保証期間を適用するキャンペーンも実施予定です。

※「Inter BEE 2022」：https://jp.yamaha.com/news_events/2022/proaudio/interbee.html

※ウェビナーについて：https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_L6vDa46BTFWpsNP1wwhg3w

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL. 03-5488-6605

■ 一般の方のお問い合わせ先

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター TEL. 03-5651-1838

ウェブサイト <https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>